

石巻の水産2023



【石巻魚市場】

特定第3種漁港である石巻漁港にある高度衛生管理型魚市場で隣には超低温冷蔵庫も構えております。

世界3大漁場である三陸金華山沖の豊富な資源に恵まれ、年間200種類以上の魚種が水揚げされ、背後の一大加工団地を有することから、懐の深さが最大の特徴で、さらに令和3年には、875.47mの「最も長い魚市場」としてギネス世界記録®に認定されました。

また、毎朝しっかりと放射能検査体制（ベルトコンベア式放射能検査機器2台、簡易検査機器4台（非破壊2台、破壊2台））により安全・安心な水産物をお届けしています。

金華さば、金華かつお、金華ぎんに代表される「金華ブランド」は、この市場ならではの。



金華さば



金華かつお



金華ぎん



鯨



牡蠣



ほや

～市内漁港位置図～

石巻市管理漁港一覽							
No.	漁港名	地区名	管轄漁協	No.	漁港名	地区名	管轄漁協
1	北上	小滝	北上町十三浜支所	21	竹ノ浜	—	石巻市東部支所
		大指		22	牧ノ浜	—	
		小指		23	前網	—	寄磯前網支所
		相川		24	鮫ノ浦	—	
		大室		25	谷川	大谷川	谷川支所
2	白浜	—	祝浜	谷川			
3	長面	—	河北町支所	26	泊	—	表浜支所
4	明神	—	27	小網倉	—		
5	小島	—	28	大原	—		
6	水浜分浜	—	29	給分	—		
7	名振	—	雄勝町雄勝湾支所	30	小淵	—	網地島支所
8	船越	—		31	長渡	長渡	
9	荒	—		根組	—		
10	大須	—		32	池ノ浜	—	
11	宇島	—		33	十八成浜	—	牡鹿漁業協同組合
12	熊沢	—	34	新山	—		
13	羽坂	—	石巻地区支所	計 34漁港・41地区			
14	桑の浜	—					
15	小竹	—					
16	折ノ浜	—					
17	蛤浜	—					
18	月浦	—					
19	侍浜	—					
20	大泊	—					

北上町十三浜支所
市管理：2漁港・6地区

河北町支所
市管理：1漁港

雄勝町雄勝湾支所
市管理：3漁港
県管理：1漁港

雄勝町東部支所
市管理：8漁港

石巻湾支所
県管理：2漁港

寄磯前網支所
市管理：1漁港
県管理：1漁港

谷川支所
市管理：3漁港・5地区

表浜支所
市管理：4漁港

牡鹿漁業協同組合
市管理：2漁港
県管理：1漁港

網地島支所
市管理：2漁港・3地区
県管理：1漁港

宮城県漁業協同組合

宮城県漁協石巻総合支所

石巻地区支所
市管理：6漁港
県管理：2漁港

石巻市東部支所
市管理：2漁港
県管理：2漁港

宮城県管理漁港一覽			
No.	漁港名	種別	管轄漁協
1	雄勝	第2種	雄勝町雄勝湾支所
2	寄磯	第2種	寄磯前網支所
3	鮎川	第4種	牡鹿漁業協同組合
4	網地	第2種	網地島支所
5	福貴浦	第2種	石巻市東部支所
6	狐崎	第2種	
7	石巻	特定第3	石巻湾支所
8	渡波	第3種	
9	桃ノ浦	第2種	石巻地区支所
10	仁斗田	第2種	

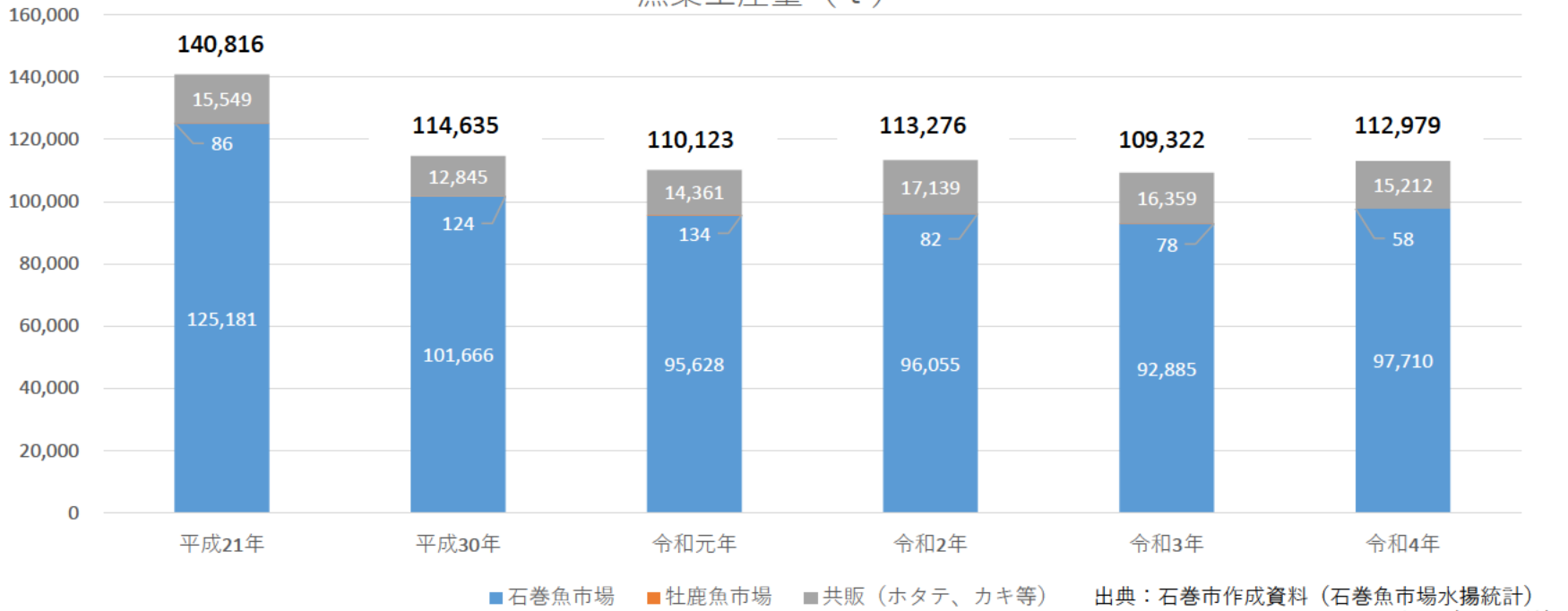
計 10漁港

＜漁港施設・海岸保全施設の整備＞

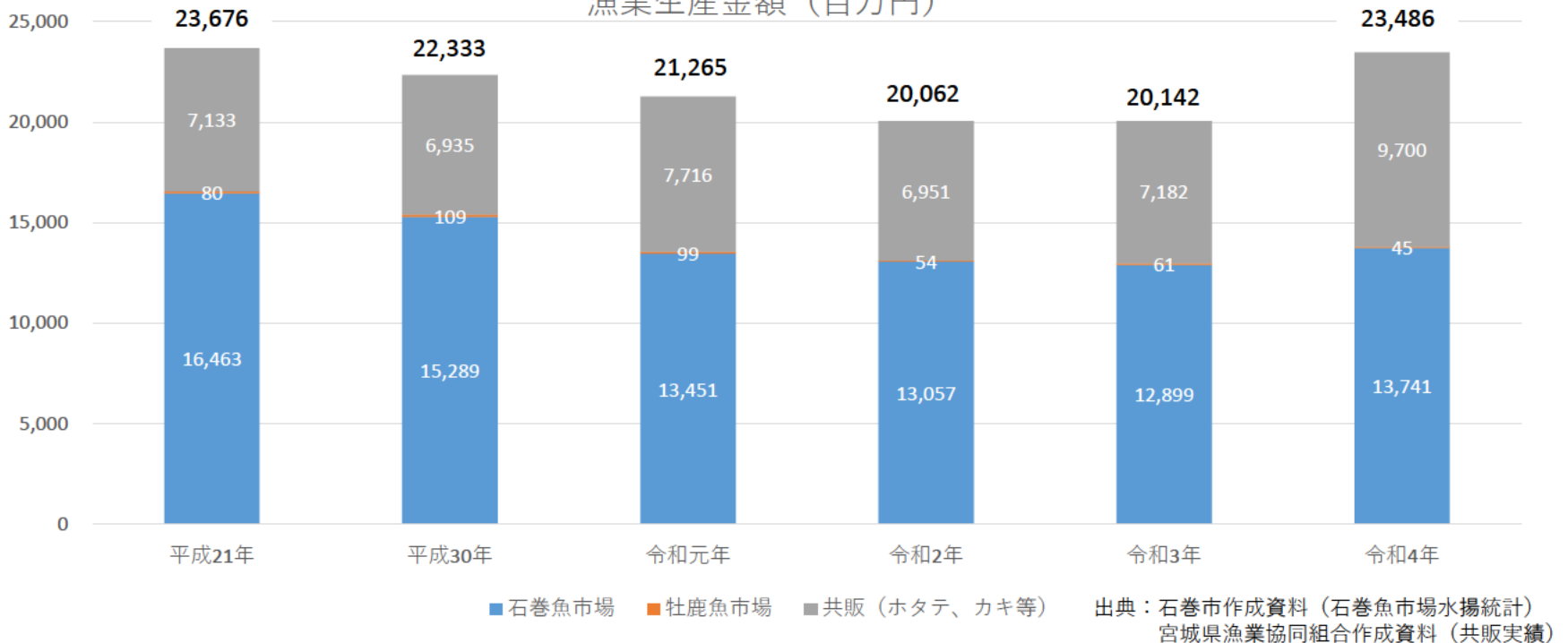
頻発化、激甚化する自然災害への対応力強化や安全で働きやすい就労環境の確保のために、漁港施設の改良を行っております。漁港施設については機能保全計画、海岸保全施設については長寿命化計画に基づき、老朽化対策を戦略的に取り組んでおります。津波浸水被害軽減を図るため、海岸保全施設のうち陸閘及び水門については、85基のうち、30基を遠隔操作化しております。

～水産関係の稼ぐ力～

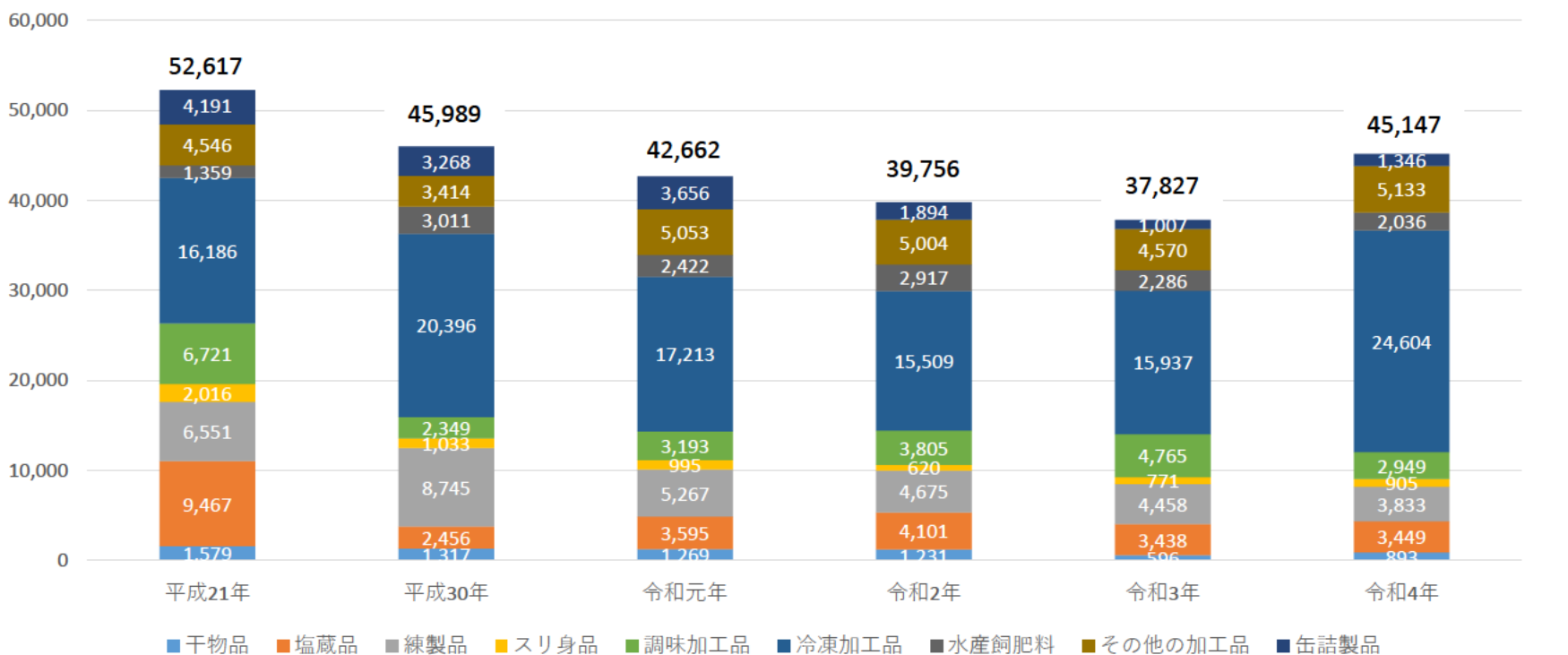
漁業生産量（t）



漁業生産金額（百万円）



水産加工品生産金額（百万円）

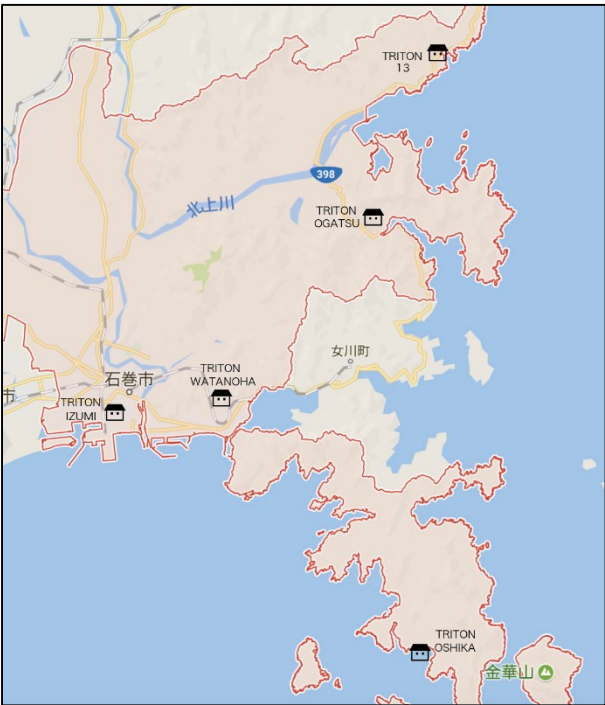


～水産関係の主な施策～

＜水産業担い手事業 [R5予算額：28,600千円]>

後継者不足等の理由により減少が続いていることから、平成27年度（水産加工業は令和3年度から）から移住者や若者を積極的に受け入れて担い手を確保するため、シェアハウスとなる担い手センターの運営、担い手確保・育成の活動を展開している（フィッシャーマンジャパンに委託）。合わせて、担い手の独立や資格取得に対して支援を実施している。

年度	就業者数	離職者数	年度末就業者数
令和4年度	12人	4人	38人
令和3年度	13人	3人	30人
令和2年度	5人	4人	20人
令和元年度	5人	2人	19人



＜石巻食品輸出振興協議会事業 [R5予算額：25,849千円]>

東日本大震災以降、販路が失われたことを契機に、石巻のブランド力向上と地場産品の流通促進による地域経済の活性化を目的として、平成28年度から石巻食品輸出振興協議会を設立し、地域ぐるみで石巻市の特産品の共同輸出を実現するため、共同輸出に向けた体制・戦略づくり及び輸出拡大に向けた取り組みを実施している（フィッシャーマンジャパンマーケティングに委託）。

年度	輸出金額
令和4年度	816,453千円
令和3年度	580,400千円
令和2年度	501,099千円
令和元年度	115,128千円

＜磯焼け対策事業 [R5予算額：2,852千円]>

多くの水生物の生活を支え、産卵や幼稚仔魚に生育の場を提供する“藻場”が減少する『磯焼け』が石巻の沿岸においても発生していることから、水産資源の維持培養と環境保全を図るため、市内漁協等が実施する磯焼け対策等を支援している。

併せて、宮城県が実施する「藻場ビジョン」によるハード整備（ブロック投入）と連携し、ハード・ソフト両面から磯焼け対策に取り組んでいる。

また、事業主体によっては、小学生向けの漁業体験セミナー等を展開している。



＜鯨食普及事業 [R5予算額：3,092千円]>

令和3年度に「石巻くじら振興協議会」を設立し、捕鯨文化と産業の理解を深めるための活動及び鯨食文化の維持継承、普及促進を図っている。

（捕鯨の歴史のパネル展示、くじら探訪ツアー、くじらフェア、鯨肉頒布会、保育所及び学校給食用の鯨肉の提供）

※令和2年度までは、市の鯨食普及事業として実施。

（鯨肉頒布実績：kg）		R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
住民頒布	ミンク鯨	3,000	3,297	2,291	199
	ミンク鯨	1,200	60		
学校給食	ニタリ鯨		1,240	30	
	ツチ鯨			1,005	1,215



＜問い合わせ先＞

石巻市産業部水産課
TEL.0225-95-1111（内線3512）
e-mail：isfisher@city.ishinomaki.lg.jp